

## ● 全国高等専修学校協会理事会

2月17日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国高等専修学校協会の理事会が開催された。

清水信一会長が開会あいさつを述べ、星川正樹文科省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、平成29年度高等専修学校関係予算案について説明。議事に入り、(1)平成29年度事業計画・収支予算原案(活動方針：①「大学入学資格付与(高等学校卒業程度)指定校」高等専修学校(又は自校名)として、全国の3年制高等専修学校に使用を呼びかける。②高等専修学校における安全・安心な学習環境の確保のため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付への加入を実現する。質疑応答及び広く意見交換を行い、原案どおり異議なく承認された。

理事会終了後に平成28年度文部科学省委託事業「高専連携分野職域プロジェクト・発達障がい分野成果報告会」がアルカディア市ヶ谷を会場として開催され、50名が受講。

清水会長が開会あいさつを述べ、牧野浩司文科省専修学校教育振興室専門官が来賓あいさつを述べた。幹事校である大岡学園の大岡豊理事長と鳥取大学の長尾博暢准教授が高専連携分野取りまとめ事業成果報告。【保育】＝大岡学園高等専修学校、【介護】＝安城生活福祉高等専修学校、理容美容分野＝国際理容美容専門学校。続いて、発達障がい分野事業成果報告として、大岡学園高等専修学校、武蔵野東高等専修学校、が発表し、受講者との質疑応答を行い、牧野浩司文科省専修学校教育振興室専門官が講評を述べて終了した。